

所 属	生活安全課
所属長	木下 禎章
電 話	06-6489-6502

【取材案内】 赤い球体「交通安全祈念塔」のジオラマ模型が尼崎市に寄贈されます

尼崎市では、旧尼崎南警察署西分庁舎（浜田町4丁目45番地）の敷地内に設置されている「交通安全祈念塔」が同庁舎の移転に伴い解体・撤去されることを受け、尼崎南交通安全協会から同祈念塔を再現したジオラマ模型の寄贈を受けます。

寄贈に際しては、11月24日に市長室において寄贈セレモニーを執り行いますので、ぜひご取材下さい。

寄贈を受けた後は、11月24日から市役所南館2階の秘書課前連絡通路で展示した後、市立歴史博物館に保存し、展示資料として活用します。



交通安全祈念塔

1 寄贈セレモニーの実施

- (1) 日 時 11月24日（木）午前11時～11時30分
- (2) 場 所 市長室
- (3) 出席者 尼崎南交通安全協会 陶國 隆男（すえくに たかお）会長（寄贈者）
尼崎市長 稲村 和美

2 交通安全祈念塔の概要等

交通安全祈念塔は、尼崎南交通安全協会の前身である尼崎西交通安全協会の設立20周年を記念し昭和49年に建てられたもので、赤い球体は交通事故「0（ゼロ）」を表し、塔の部分は道路を象徴しています。放送設備を備えており、交通安全協会の会員が中に入り、安全運転を呼び掛ける音声放送などを定期的に行っていました。

建造から48年間、市内の交通安全を見守り続けてきた祈念塔の思いを市が引き継ぎ、模型を目にした方々が交通安全に対する意識を新たに高めるきっかけにしてもらうことを願います。

3 展示の日程について

市立歴史博物館での展示については、令和5年1月中旬頃からの予定です。

以 上